令和４年度教員個人評価の結果について

岡山県立大学

岡山県立大学では、教員の教育、研究、社会貢献及び管理運営に関する活動状況について客観的な評価を行い、教員の資質、能力及び意欲の向上並びに本学の社会貢献活動の活性化に資することを目的として、教員の個人評価を実施しています。

令和4年度からは、相対評価を廃して絶対評価にするとともに、評価結果も4段階に変更し、年度ごとに各自で目標を設定したり、評価者等と教員との十分な意思疎通のための面談を実施するなど、新たな制度で実施しています。

なお、今回の見直し結果を踏まえ、より実効性のあるものとするため、引き続き、制度の改善に向けた見直しを進めることとしています。

＜評価の概要＞

1　評価の目的

(1) 教員が、自己の活動を点検し、自己評価することによって、教員の意識改革を促すとともに、本学の教育研究活動等の活性化を促進する。

(2) 個人評価による活動の改善等の取組により、本学の高等教育機関としての教育研究の質を保証する。

(3) 本学において教員が果たすべき役割を明確にし、中期目標・中期計画に関する取組に携わる教員を積極的に評価することにより、各目標の円滑な達成を目指す。

2　評価対象者

評価実施年度の5月１日現在において学部に所属し、評価実施年度の前年度4月１日以前から継続して本学に在籍する常勤の教授、准教授、講師、助教及び助手とする。

ただし、評価実施年度内に本学を退職予定の教員等は、評価対象者から除くことができる。

3　評価者

教員（学部長を除く）の評価者・・・学部長

学部長の評価者・・・学長及び理事である副学長2名

4　個人評価の対象活動

教育、研究、社会貢献及び管理運営の4領域

5　評価の決定

S評価（特に優れている）、A評価（優れている）、B評価（適切である）、C評価（改善を要する）の4段階評価とし、評価委員会で決定する。

＜評価結果の概要＞

1　評価実施者数　（単位：人）

職名／学部	教　授	准教授・講師	助教・助手	計
保健福祉学部	20	23	11	54
情報工学部	17	18	8	43
デザイン学部	12	16	3	31
計	49	57	22	128

２ 職名別の総合評価結果　（単位:人）

区分＼職名	教授	准教授・講師	助教・助手	計
S評価	26	18	13	57
A評価	10	10	3	23
B評価	11	22	5	38
C評価	2	7	1	10
計	49	57	22	128